



# 身近な 生きもの 調査

案内パンフレット



# 身近な林

今回のテーマは



赤い実



## 新しい 「身近な生きもの調査」が 始まります

「身近な生きもの調査」が、あらためてスタートします。1995年から「セミのぬけがら」、「ひつつきむし」、「ツバメの巣」と年ごとにテーマを決めてすすめてきた「身近な生きもの調査」ですが、今年2000年からは新たに、「身近な林」に着目して調査を始めます。「身近な生きもの調査」は、全国の多くの方々に参加いただすることで成り立っている調査です。これまでの調査でも、みなさんのご協力によって、数少ない専門家だけでは必ずしも得ることのできない、貴重な成果が生み出されてきました。今回の調査にも、これまでにも増して多くの方々の参加をお待ちしています。

## 身近な林を より豊かにするために

今回の調査では、みなさんの身近な地域で見られるさまざまな林について、四季を

通じてそのようすをお知らせいただきます。みなさんからお寄せいただいたデータで、どこにどんな林があるか、それぞれの林に何が不足しているか、そして、その林をより豊かにするためには何が必要かを明らかにしたいと思います。

ビルや道路に囲まれた市街地の林、田畠に囲まれた林、神社の林、公園の林……。みなさんの中には、いろいろな林があると思います。そこにはどんな植物や動物が見られるでしょうか。また、あなた自身や近隣の方々が、その林をどのように利用しているのでしょうか。

子供たちが昆虫採集によく出かける林もあれば、格好の散歩コースになっている場所もあるでしょう。逆に、ゴミが捨てられていたり、容易に中には入り込めないような林もあると思います。

そうした林のようすを調査して、より良い状態にするための手がかりをつかみたいと思います。



# 調査の参加方法

## 1 申し込み



返信用封筒に切手を貼って、「申し込みカード」とともにお送りください。

募集の締め切りは

平成12年7月31日です。

## 2 調査資料の受け取り



お申し込みいただいた方には調査に使う資料として、

●調査のてびき

●調査票

をお送りします。なお、調査資料は8月上旬から順次発送を開始いたしますので、お手元に資料が届くまでに、お時間がかかります。あらかじめご了承ください。

## 3 現地調査



今年の秋から冬の調査では、「ドングリ」と「赤い実」を探してください。見つかったら、「ドングリ」は実物を、「赤い実」は写真を撮り、調査票に林のようすなどを記入してください。調査はみなさんの出かけられる範囲内で行っていただければ結構です。

## 4 調査票の返送



返送は「ドングリ」は秋の終わりに、「赤い実」の写真を貼った調査票は、冬の終わりにお送りください。(詳しくは後日お送りする「調査のてびき」でお知らせいたします。)

※なお、調査資料等の郵送料は、恐れ入りますが、参加者のみなさんにご負担をお願いしております。

セミのぬけがら



タンポポ



### 今年の秋から冬は、ドングリと赤い実を探してください

今年の秋はまず、あなたの選んだ林で、ドングリと赤い実を探してください。

クヌギやコナラ、シイなど、「ドングリ」の実物を送ってください。ドングリを集めることで、その林の樹木の構成をることができます。

「赤い実」は写真に撮って送ってください。ナナカマド、センリョウ、アオキ、カラスウリなど、秋から冬の林でよく目立つ赤い実を写真に撮ってください。ドングリと同様、その林の構成がある程度わかり、また、こうした実は動物たちにとっての大変なエサになっています。

### 来年の春から夏はタンポポとセミのぬけがらを調べます

春になったら、林の周辺で「タンポポ」を調べてください。タンポボには、昔から

日本に生えていた在来の種と、明治時代にヨーロッパから持ち込まれた外来の種があります。これらを調べることで、林のおかれた周辺環境の都市化の程度をることができます。

さらに夏は、その林で見つけた「セミのぬけがら」を送っていただきます。ぬけがらからセミの種類を調べ、それぞれの林での種類数をくらべてみたいと思います。

### 1年をとおして林の写真を撮って下さい

今回の調査は、あなたの決めた林を、3つの方法で調べていただきます。1つはドングリ、タンポボ、セミのぬけがらなどの「実物」、もう1つは赤い実や昆虫などの「写真」です。

そして、定期的に、決まった場所からその「林の写真」を撮っていただきます。調査が終わる1年後に、撮った林の写真を季節毎に貼って送ってください。1年間調査した林がどんな移り変わりをしているのか見くらべてみます。

### 生きもの調査カレンダー

	秋	冬	春	夏
林を決める	●			
実物を集める	●	ドングリ		
季節の写真		赤い実		
林の写真	●	●	●	●



# お手元に届いた調査結果から、 身の回りの自然について 考えてみましょう



調査に参加いただいたみなさんは、全国の林のようすや林と生きものとの関わり、そして、みなさんからお寄せいただいた地域の情報など盛り込んだ調査結果（報告書）をお届けします。今回は、今年の秋から来年の夏まで1年間調査していただいた結果をまとめたものになります。

調査結果をご覧になって、みなさんの身の回りの自然や環境の変化について、考えてみて下さい。



## 緑の国勢調査とは

緑の国勢調査は、環境庁が実施する日本の自然に関する総合的な調査で、正式には「自然環境保全基礎調査」といいます。全国の植生や動植物の分布、海岸や河川、湖沼の変化の状況などが調べられており、「身近な生きもの調査」もそのなかの一つとして行われています。

## 環境庁自然保護局 生物多様性センター

### Biodiversity Center of Japan

生物多様性センターでは、緑の国勢調査の企画・実施に加え、生物多様性保全に関する普及啓発等の業務を行っています。また、生物多様性の保全をテーマとした展示室や、緑の国勢調査の報告書をはじめとする関連図書等の閲覧ができる図書資料閲覧室を公開しております。どなたでもご利用いただけますので、是非お越しください。

#### 【展示室】

入館料 無料  
開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 【5月～10月】祝日（ただし、土曜日・日曜日と重なる場合は開館）  
【11月～4月】土曜日、日曜日、祝日、12月28日～1月4日

#### 【図書資料閲覧室】

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 土曜日、日曜日、祝日、12月28日～1月4日

#### 【交通案内】

- 富士急行線「河口湖駅」または中央高速バス「河口湖駅」下車タクシーで約10分
- 中央自動車道「河口湖IC」または東富士五湖道路「富士吉田IC」より約10分（富士スバルライン沿線）



お問い合わせは

環境庁自然保護局

## 生物多様性センター（身近な生きもの調査係）

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1

TEL 0555-72-6033 FAX 0555-72-6035

Webページ <http://www.biodic.go.jp>

★身近な生きもの調査に関するることはもちろん、他の緑の国勢調査に関する情報など、ご覧いただけます。